

かわむら **こども** クリニックNEWS

Volume 17 No 12

197号

平成21年12月 1日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

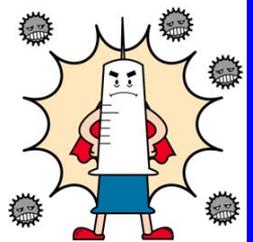
新型インフルエンザ雑感

院長

今年最後の記事も新型インフルエンザになってしまいました。今回は、感じていることを遠慮無く書いてみます。

正直言って、開業以来これほど思いが伝わらないことは、ありません。患者さんからこんなメールをもらいました。「先生、こんばんは。いつもいつもお世話になってます。遅い時間にすみません m(_ _)m。今日は、新型インフルエンザの予防注射のお話、ありがとうございます m(_ _)m。幼稚園のお母さんから、「どうして注射できたの？喘息持ってないよね？どこで？」「うちの子だって喘息持って今日だったんだよ。」と言われ、また別のお母さんからは「喘息持っているのにまだできないのに」など、非難に近いような質問、疑問をぶつけられたので、直接先生に伺ってしまいました。お話を聞いて、川村先生を始め、スタッフの皆さんの休日返上のお陰だと知り、本当に頭が下がる思いです。ありがとうございます m(_ _)m。かかりつけの小児科が、「かわむらこどもクリニック」で本当に良かったです。毎日忙しくて、お休みも返上で、大変だと思います。みなさん、身体に気を付けて頑張ってください。これからもよろしくお祈りします m(_ _)m。当院では10月中旬から登録を始めて、少しでも早くという意識から11月2日に登録者のうち基礎疾患を持っているお子さんをピックアップして、新型ワクチンの接種始めました。基礎疾患を持つお子さんへの接種は11月中旬には終了しました。東京や大阪で小児への前倒しの接種が始まったこともあり、余ったワクチンの有効利用を考えました。かかりつけの患者さんへの少しでも早い接種による感染の予防を目的に、休日当番の翌日の11月23日(祝)に休みを返上して、午前中に150人のワクチン接種を行いました。前日の休日当番にもかかわらず、スタッフは愚痴一つ言わず協力してくれました。新型ワクチンの登録者は、11月中旬には600人を超えました。接種にあたり優先接種者、前倒しになった接種者に、すべて個別に電話連絡をするため、スタッフは連日21:00過ぎまで残業の日々でした。かかりつけの患者さんを大切に、少しでもメリットがあるように、対応していた訳です。小児科へのワクチンの配付は平等に行われているので、他の医療機関も同じ対応ができたはずなのですが、ワクチンに余裕があるにも関わらず、接種を先延ばしにするメリットはありません。しかし、休みを返上して接種することは誰でもできることではないのでしょうか。このような努力をしても、我々の意図は伝わらず、感じ方は人によって違ってきます。今回のメールのように、非難に近いような質問、疑問をぶつけられるいわれはありません。まして、当院の患者さんに向かっての非難など、もっての外です。どんな考えで、ワクチンを使うかは医療機関ごとの判断によるものです。我々に非難を向けるのではなくて、かか

りつけの先生に要望を伝えてもらいたいところです。多くの患者さんは早く接種できたのは、ラッキーと思っています。そう、よろこんでもらえるのは、院長はじめスタッフの心意気と犠牲の上になり立っていることを付け加えておきます。



もうひとつは、インフルエンザ迅速検査です。正直「もういい加減にしてください」という心境です。ちょっとおさらいです。インフルエンザの診断は、周囲の流行状況と症状が基本です。集団生活や家族にインフルエンザがいて、1～3日以内に熱が出れば、現状ではインフルエンザと診断しても90%は正解です。迅速検査の陽性率は60～80%といわれているので、診断に関しては臨床診断の方の確率が高いのです。にもかかわらず、検査を希望する人があとを絶ちません。検査で痛い思いをして陰性、心配している親御さんは結果に関わらず抗インフルエンザ薬を持って帰ることになります。その場合のお子さんの苦痛は、何のためだったのでしょうか。前にも同じことを書きましたが、検査は子どものために行うものです。もちろん治療も患者さんのためであり、病気の治癒を早く苦痛を軽減することが目的です。高熱などの症状があり臨床的に判断できない場合には、検査が必要ということも言うまでもありませんが、あくまでも参考ということなのです。この検査偏重主義のために、子どもが苦痛を与えることは避けなければなりません。それ以上に問題なのは、熱が下がって元気もあるのに検査を望むことです。心配な気持ちは理解できますが、症状がないか軽い場合には、無理して検査をして痛い思いをする必要はないのです。大人は熱が下がれば自分の検査しないはずですが、子どもでは検査を希望します。それは子どものためではなく、幼稚園や学校のため、もしくは親御さんの心配のためです。他人のために子どもが辛い思いをすることは避けるべきで、子どもの苦痛を防ぐのが親御さんの役割です。それだけならまだしも、検査の必要がないと伝えると、ふてくされて医師の判断を非難する親も少なくはありません。熱が下がって子どもが元気であれば、それでいいと考えられないのでしょうか。新型インフルエンザは多くは軽症で済むのですから、また熱が上がってから考えればいいことです。

クリニックとして個人の時間を犠牲にしてまでも、子どもたちのことを考えていることが十分伝わらず、残念に思っています。もちろん引用したメールのように、多くの親御さんは我々の取り組みを理解してくれていると信じています。以前も記事にしましたが、いい医者 conditions は患者さんの要求に何でも応えることではなく、子どものことを第一に考えて適切に検査・治療をすることではないのでしょうか。愚痴のようなことを書いてしまいました。このところの激務とせいと思って、笑ってお許してください。

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』

読者の広場

先月はインフルエンザの流行とは関係ないと思いますが、16通のメールを頂きました。まずは、青葉区のOさん(匿名希望です)からのメールを紹介します。「昨日は大変お世話になりました。おかげ様で、Yは元気になり昨日の分を取り戻してる勢いでしゃべりまくり遊んで、お姉ちゃんにうるさがられています。食欲も旺盛なのですが、まだちょっと怖いので少しずつ食べさせています。昨夜クリニックを出てすぐ嘔吐した後、ずっと調子よくて、市立病院でも痛がることもなく、超音波やレントゲンで調べて頂いたのですが特に問題なく、しいて言えば便が溜まっているということでもう一度浣腸をして頂いて水分を取って様子を見て、大丈夫そうだとということで11時頃家に帰りました。家に帰って元気そうなのに一度吐いた時は心配しましたがその後は問題なく朝まで眠りましたので一安心です。今となっては昨日の事がうそのようで、狐につままれた感じですが、昨日は素人考えで悪い病気ばかり頭に浮かび本当に不安でいっぱい、先生に「このまま帰したら僕達も心配で眠れなくなっちゃうから...」と言われた時は、本当に有難く涙が出ました。以前病院に行った次の日とかに何回か婦長さんから大丈夫かとお電話を頂いた事を思い出しました。たくさんの患者さんを診ていらっしゃるのに本当に親身になって心配して下さっているのだと感謝の気持ちでいっぱいです。昨日は午後から夜までずっと病院にいらして下さったのですが、先生や看護婦さん方の休みの無いきびきびとした動きに感動しました。皆さんのお仕事振りを見ながら万歩計つけたらかなりの歩数いくんじやないかと考えてました。本当にお忙しいと思いますので、皆様お体大事にしてください。長くなりましたが、電話で相談したときにまだ午後からの診察時間ではなかったのに「そのまま来てください」と事務の方に言って頂いてすごくホッとしてその後病院でも皆様に声をかけて頂いてここにいれば大丈夫という安心を頂きました。クリニックの皆さんに感謝します。ありがとうございました。今後もよろしくお願い致します。」。休みを前にして心配なお子さんには休日受診の際に困らないように、「何でもなくすむようにお守りとして持って行って」と紹介状を作ってお渡ししています。休みに変わったからといって知らないでは、かかりつけの役目を果たせません。といっても、365日24時間診察することは不可能ですから。ともかく何事も無くよかったです。そしてメールありがとうございました。続いては宮城野区の櫻井さんからのメールです。「今日は休日当番医お疲れ様でした昨日と今日と2日続けてお世話になりましたm(__)m。沙樹の咳はまだ続いています。熱は落ち着いてきました。また明日上がらなければいいのですが...。亜美は相変わらず熱のみで他の症状は出てません。こんなこともあるのでしょうか?。でも今日の当番医が川村先生で良かったです(^-^)。昨日、当番医の話聞いていたので夜中に熱を出しても全然慌てることもなく済みました。ありがとうございました。今日は1日ずっと忙しかったことでしょう。お昼ご飯を食べる時間もなかったです。明日はゆっくり休んでください。先生、スタッフの皆様が体調を崩しませんように...お礼まで」。一面ではつい愚痴をこぼしてしまいましたが、このような2通もの暖かいメールを頂くと、ホット心が和みます。スタッフ皆で、うれしい気持ちで読ませていただきました。仕事に向かうモチベーションが上がります。本当にありがとうございました。



お母さんクラブのご案内

クリスマス会

12月17日(木) 14:00 福沢市民センター

毎年恒例のクリスマス会です。歌あり、踊りあり、ゲームあり、そして賞品満載のビンゴゲームもあります。日頃のストレスを楽しい時間で、吹っ飛ばしてしましましょう。参加は会員限定ですが、入会は今からでも間に合います。お母さんクラブの会員になり、クリスマス会に参加して、思いっきり楽しんでみませんか?。

200号記念誌原稿募集

新聞を発行して16年が経ち、来年の3月で200号を迎えます。200号記念紙を予定していますが、皆さんの協力をお願いします。

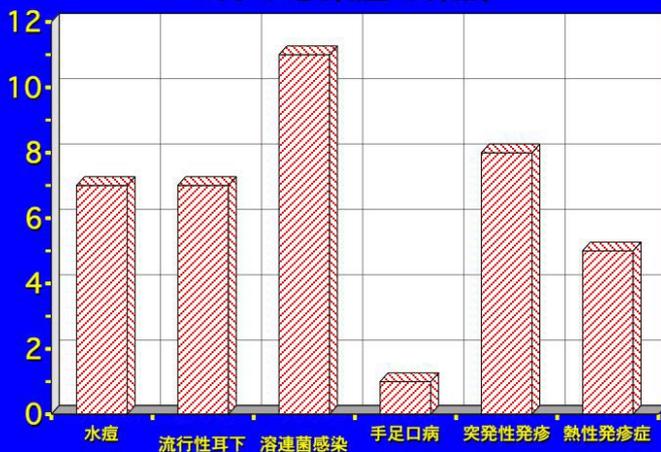
当院との思い出、日頃感じていること、お子さんの話、何でも結構です。文章だけでなく、写真やお子さんの作品等、何でも結構ですので、是非お寄せください。

年末年始休暇

12月29日(火)～1月4日(月)

休日当番、ワクチン接種の時間外及び休日出勤のため、スタッフに休みを与えなければならなくなりました。休みが長期になり皆様にはご迷惑をお掛けしますが、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

11月の感染症の集計



グラフに示していませんが、インフルエンザの患者数は331人で11月の2倍近くになっています。今迄検査したA型はすべて新型です。ここ5年間で2005年の380人について2番目の数です。もちろん11月としては異例中の異例です。先月、他の感染症が影を潜めていましたが、水痘、おたふく、溶連菌感染症が増加しています。そうすると、少しインフルエンザは減ってくるかもしれません?

・医学生実習

12月11日(金)

よろしくご協力をお願いします。

・栄養育児相談

毎週水曜日 13:30～

栄養士担当 無料

・新型ワクチン予約受け付け中



編集後記

毎年12月に書くことですが、本当に1念が経つのは早いものです。あっという間に過ぎてしまい、年取るほどに早くなっています。今年は新型インフルエンザとワクチンで、どうしようもないほど忙しい年でした。お正月はゆっくり休んで、リフレッシュして新しい年に望みたいと思っています。皆さん、よいお年を!



麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『小学校入学前にも麻しん風しん混合ワクチンを』
Ⅲ期(中学1年生相当)、Ⅳ期(高校3年生相当)も忘れずに!